



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場会社名 新日鉄住金ソリューションズ株式会社  
コード番号 2327 URL <http://www.ns-sol.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 謝敷 宗敬

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 木村 博

TEL 03-5117-4111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	81,453	△0.3	4,525	△16.6	4,738	△17.7	2,478	△21.8
25年3月期第2四半期	81,675	7.2	5,424	8.1	5,760	10.2	3,169	16.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,728百万円 (△18.4%) 25年3月期第2四半期 3,345百万円 (20.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	46.77	—
25年3月期第2四半期	59.80	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	147,215	97,126	63.7
25年3月期	145,121	95,571	63.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 93,723百万円 25年3月期 92,235百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	20.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	178,000	3.5	12,700	14.1	13,000	11.8	7,400	12.2	139.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	52,999,120 株	25年3月期	52,999,120 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,589 株	25年3月期	1,554 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	52,997,548 株	25年3月期2Q	52,997,578 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	5
2. その他の情報 .....	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書 .....	9
四半期連結包括利益計算書 .....	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12
(6) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更 .....	12
(7) 会計方針の変更等 .....	12
(8) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理 .....	12
(9) 四半期連結貸借対照表関係 .....	12
(10) 四半期連結損益計算書関係 .....	12
(11) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 .....	13
(12) 株主資本等関係 .....	13
(13) セグメント情報等 .....	14
(14) 1 株当たり情報 .....	14
(15) 重要な後発事象 .....	14

1. 当四半期決算の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、輸出が持ち直し、生産活動や個人消費が活発になるなど、景気の緩やかな回復傾向が見られました。

情報サービス業界においては、顧客企業におけるシステム投資が増加しつつあり、緩やかな改善傾向が見られました。

(企業集団の営業の経過及び成果)

当第2四半期連結累計期間は、本年4月に設置した営業統括本部のもとアカウント戦略及びソリューション戦略を全社横断で強力に推進し、営業力の強化を図ってきました。

サービスビジネスの強化・拡大に関しては、セキュアなデータセンターに、クラウド基盤「absonne (アブソンス)」を中核とする顧客IT環境を構築し、インフラ運用サービスをワンストップで提供するアウトソーシングサービス「NSFITOS (エヌエスフィツス)」の事業展開を本格化させました。

グローバル対応に関しては、タイにおいて現地法人Thai NS Solutions Co., Ltd.の体制を拡大し、新日鉄住金(株)のグループ会社へのシステムサポートを開始しました。中国においては、新日鉄住金軟件(上海)有限公司に武漢分公司を設置して、内陸部にオフショア開発及びシステムサポート拠点を立ち上げました。

また、新日鉄住金(株)のシステムに関する業務体制について関係者と協議を進めてきましたが、現在新日鉄住金(株)が日本アイ・ビー・エム(株)に委託し、アイエス情報システム(株)が実行している旧住友金属工業(株)の本社・各製鉄所におけるシステム業務を来年度から当社が順次受託し、平成29年4月1日(目途)以降、新日鉄住金(株)のすべてのシステム業務を受託することに合意しました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、81,453百万円と前年同期(81,675百万円)並みとなりました。経常利益は、利益率の改善により売上総利益が増益となったものの、販売費及び一般管理費の増加等により、4,738百万円と前年同期(5,760百万円)と比べ1,022百万円の減益となりました。

(業務ソリューション事業)

業務ソリューション事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は46,120百万円と前年同期(43,295百万円)と比べ2,824百万円の増収となりました。

産業、流通・サービス分野

産業、流通・サービス分野向けにつきましては、ネットビジネスでの堅調なIT投資に加え、一部の製造業において海外展開に向けた戦略的投資等が見られました。

当社は電機・精密機器向けPLM(Product Lifecycle Management)案件に加え、食品・飲料、ネットビジネス、小売業向けの各種システムの開発・保守案件を着実に受注・実行し、売上高は前年同期と比べ増収となりました。

#### 金融分野

大手銀行においては、戦略分野への計画的なIT投資等が継続し、証券においてもIT投資回復の動きが見られます。

当社は既存顧客とのリレーション強化を図り、大手銀行向け市場系システム、海外基幹系システム及びシステム統合案件等に取り組み、売上高は前年同期と比べ増収となりました。

#### 社会公共分野

社会公共分野向けにつきましては、競合ベンダーとの激しい競争が継続しています。

当社は大規模システムエンジニアリング力を活かし、中央省庁等の各種システム案件を確実に実行してきたものの、前年度は大型案件があったこともあり、売上高は前年同期と比べ減収となりました。

#### (基盤ソリューション事業)

基盤ソリューション事業につきましては、ITインフラの大規模な統合・再構築やサービス化に伴う堅調な投資が継続しています。

当社はプロダクト販売等が減少したものの、クラウド関連ビジネスが堅調に推移し、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,823百万円と前年同期(9,331百万円)と比べ492百万円の増収となりました。

#### (ビジネスサービス事業)

ビジネスサービス事業につきましては、運用業務の効率化やBCM(Business Continuity Management: 事業継続管理)対応を背景にITアウトソーシングに対する堅調なニーズが見られました。テレコム分野につきましては、トラフィック増加への対応等に伴うIT投資が継続していますが、ベンダー間の競争が激化しております。新日鐵住金(株)向けにつきましては、経営統合案件を含め、本社・各製鐵所のシステム企画・開発・運用を計画的に案件化しました。

当第2四半期連結累計期間は、新日鐵住金(株)向けの取引が堅調であるものの、テレコム分野等のビジネスが減少し、売上高は25,508百万円と前年同期(29,048百万円)と比べ3,539百万円の減収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①貸借対照表

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末145,121百万円から2,093百万円増加し、147,215百万円となりました。主な内訳は、預け金の増加10,234百万円、仕掛品の増加3,870百万円、受取手形及び売掛金の減少△10,245百万円、現金及び預金の減少△1,980百万円であります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債の部は、前連結会計年度末49,550百万円から538百万円増加し、50,089百万円となりました。主な内訳は、前受金の増加2,872百万円、退職給付引当金の増加435百万円、未払法人税等の増加144百万円、賞与引当金の増加106百万円、支払手形及び買掛金の減少△3,478百万円であります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末95,571百万円から1,554百万円増加し、97,126百万円となりました。主な内訳は、四半期純利益2,478百万円、配当金△1,059百万円であります。その結果、自己資本比率は63.7%となります。

②資金調達

1) 金融機関等からの借入可能枠

当社は、大手各行に対し計4,800百万円の当座借越枠を保有しております。また、親会社である新日鉄住金(株)に対し2,400百万円の当座借越枠があり、合計7,200百万円の当座借越枠を保有しております。

2) キャッシュマネジメントシステム(CMS)

当社は、上記新日鉄住金(株)のCMSを利用しており、当第2四半期連結会計期間末は33,066百万円を預け入れております。

③キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、35,408百万円となりました。前第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の増減額が△4,382百万円であったのに対し、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の増減額は7,255百万円になりました。各活動区分別には以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

前第2四半期連結累計期間は、税金等調整前四半期純利益5,760百万円、減価償却費1,482百万円、たな卸資産の増加△3,092百万円、企業間信用△2,828百万円、法人税等の支払△3,249百万円等により552百万円となりました。一方、当第2四半期連結累計期間は、税金等調整前四半期純利益4,738百万円、減価償却費1,744百万円、たな卸資産の増加△3,845百万円、企業間信用6,775百万円、法人税等の支払△2,039百万円等により9,816百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

前第2四半期連結累計期間は、有価証券の取得による支出△4,000百万円、有価証券の償還による収入4,000百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出△3,144百万円、投資有価証券の取得による支出△498百万円、投資有価証券の売却による収入116百万円等により△3,561百万円となりました。一方、当第2四半期連結累計期間は、有価証券の取得による支出△3,000百万円、有価証券の償還による収入4,000百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出△1,407百万円、投資有価証券の取得による支出△1,060百万円、投資有価証券の売却による収入326百万円等により△1,170百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

前第2四半期連結累計期間は、配当金の支払等により△1,374百万円となりました。一方、当第2四半期連結累計期間も同様に配当金の支払等により△1,421百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想は、前回予想(平成25年4月26日)から変更ありません。

2. その他の情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。



3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,321	1,341
預け金	22,832	33,066
受取手形及び売掛金	39,041	28,795
有価証券	7,999	7,000
仕掛品	12,673	16,544
原材料及び貯蔵品	321	305
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	—	12,000
その他	4,167	4,124
貸倒引当金	△32	△23
流動資産合計	90,324	103,154
固定資産		
有形固定資産	20,760	21,995
無形固定資産		
のれん	2,517	2,434
その他	1,442	1,728
無形固定資産合計	3,959	4,162
投資その他の資産		
関係会社長期貸付金	12,000	—
その他	18,163	17,981
貸倒引当金	△86	△79
投資その他の資産合計	30,077	17,902
固定資産合計	54,797	44,060
資産合計	145,121	147,215
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,891	9,413
未払法人税等	1,974	2,118
前受金	8,258	11,131
賞与引当金	5,796	5,903
その他の引当金	459	478
その他	4,941	4,186
流動負債合計	34,321	33,231
固定負債		
退職給付引当金	14,396	14,831
役員退職慰労引当金	185	150
その他	646	1,874
固定負債合計	15,228	16,857
負債合計	49,550	50,089

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,952	12,952
資本剰余金	9,950	9,950
利益剰余金	70,544	71,963
自己株式	△4	△4
株主資本合計	93,443	94,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72	101
土地再評価差額金	△1,276	△1,276
為替換算調整勘定	△3	36
その他の包括利益累計額合計	△1,208	△1,139
少数株主持分	3,335	3,403
純資産合計	95,571	97,126
負債純資産合計	145,121	147,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	81,675	81,453
売上原価	※2 66,404	※2 65,953
売上総利益	15,271	15,499
販売費及び一般管理費	※1, ※2 9,846	※1, ※2 10,973
営業利益	5,424	4,525
営業外収益		
受取利息	119	130
受取配当金	131	132
持分法による投資利益	1	—
投資有価証券売却益	97	22
その他	17	13
営業外収益合計	366	298
営業外費用		
支払利息	16	63
持分法による投資損失	—	11
固定資産除却損	5	1
その他	8	9
営業外費用合計	30	85
経常利益	5,760	4,738
税金等調整前四半期純利益	5,760	4,738
法人税等	2,392	2,084
少数株主損益調整前四半期純利益	3,368	2,654
少数株主利益	199	175
四半期純利益	3,169	2,478

四半期連結包括利益計算書  
【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,368	2,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	29
為替換算調整勘定	4	45
その他の包括利益合計	△23	74
四半期包括利益	3,345	2,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,145	2,547
少数株主に係る四半期包括利益	199	181

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,760	4,738
減価償却費	1,482	1,744
のれん償却額	82	82
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	△16
賞与引当金の増減額 (△は減少)	57	106
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	451	435
受取利息及び受取配当金	△251	△262
支払利息	16	63
持分法による投資損益 (△は益)	△1	11
投資有価証券売却損益 (△は益)	△97	△22
固定資産除却損	5	1
売上債権の増減額 (△は増加)	1,550	10,269
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,092	△3,845
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,379	△3,494
その他	1,972	1,845
小計	3,561	11,658
利息及び配当金の受取額	255	261
利息の支払額	△16	△63
法人税等の支払額	△3,249	△2,039
営業活動によるキャッシュ・フロー	552	9,816
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△4,000	△3,000
有価証券の償還による収入	4,000	4,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,144	△1,407
投資有価証券の取得による支出	△498	△1,060
投資有価証券の売却による収入	116	326
その他	△34	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,561	△1,170
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,059	△1,059
少数株主への配当金の支払額	△80	△113
リース債務の返済による支出	△234	△247
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,374	△1,421
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,382	7,255
現金及び現金同等物の期首残高	30,872	28,152
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 26,490	※1 35,408

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第 2 四半期連結累計期間(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第 2 四半期連結累計期間(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)  
該当事項はありません。

(6) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

当第 2 四半期連結累計期間(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)  
該当事項はありません。

(7) 会計方針の変更等

当第 2 四半期連結累計期間(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)  
該当事項はありません。

(8) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)	
税金費用の計算	
当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。	

(9) 四半期連結貸借対照表関係

該当事項はありません。

(10) 四半期連結損益計算書関係

※ 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
給料諸手当	3,141百万円	3,331百万円
賞与引当金繰入額	1,155百万円	1,154百万円
退職給付費用	260百万円	262百万円
役員退職慰労引当金繰入額	13百万円	14百万円
減価償却費	68百万円	58百万円
のれん償却額	82百万円	82百万円
営業支援費	1,548百万円	1,873百万円

※ 2 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
	677百万円	725百万円

(11) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係

※ 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に記載されている科目の金額との関係

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
現金及び預金勘定	3,681百万円	1,341百万円
預け金勘定	18,409百万円	33,066百万円
取得日から 3 ヶ月以内に償還期限の到来する有価証券	4,399百万円	1,000百万円
現金及び現金同等物	26,490百万円	35,408百万円

(12) 株主資本等関係

前第 2 四半期連結累計期間(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)

1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年 5 月15日 取締役会	普通株式	1,059	20.00	平成24年 3月31日	平成24年 6月1日	利益剰余金

2) 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月26日 取締役会	普通株式	1,059	20.00	平成24年 9月30日	平成24年 12月4日	利益剰余金

当第 2 四半期連結累計期間(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)

1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年 5 月14日 取締役会	普通株式	1,059	20.00	平成25年 3月31日	平成25年 6月3日	利益剰余金

2) 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月29日 取締役会	普通株式	1,059	20.00	平成25年 9月30日	平成25年 12月3日	利益剰余金

(13) セグメント情報等

当社及び当社グループは情報サービス単一事業のため、セグメント情報の記載を省略しております。

(14) 1 株当たり情報

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
1 株当たり四半期純利益金額	59円80銭	46円77銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (百万円)	3,169	2,478
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (百万円)	3,169	2,478
普通株式の期中平均株式数 (株)	52,997,578	52,997,548

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(15) 重要な後発事象

該当事項はありません。